

講義名	海外英語研修（アメリカ）		
科目区分	選択外国語		
担当教員	山本 勝巳		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 3時限	授業形態	
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 福祉マネジメントコース/2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービス心理コース/2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 スポーツ健康マネジメント/2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービスマーケティング/2014年度 サービス産業学部		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要			
<p>海外英語研修（アメリカ）は、8月上旬から約3週間、オレゴン州にあるポートランド州立大学で第二言語としての英語（EFL）学習者に特化した英語授業に参加することになります。今年度はDiscover Portland! Programという国内他大学とのジョイントプログラムへの参加となります。ジョイントプログラムを通じて、他大生とのネットワーク作りも期待できます。また、ホームステイや各種のアクティビティによる異文化体験により、参加者の視野を広めることも目的としています。本語学研修は、現地研修に参加するための国内での「事前研修」と「現地研修」とで構成されています。それら一連の活動に適切に参加し、さらに課題をこなして初めて単位が与えられることを認識した上での参加が必要となります。</p>			

到達目標			
<p>上に挙げた全ての活動を通して、次のことを学ぶことを目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常生活に必要な英語聞き取り能力</li> <li>2. 日常生活に必要な英語発話能力</li> <li>3. 英語話者と実際に会話をする能力</li> <li>4. 異文化の人々の考え方や価値観を理解し、尊重する能力</li> <li>5. 団体生活において自分を律する能力</li> </ol>			

提出課題			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文化紹介資料</li> <li>・現地での課題</li> <li>・その他課題</li> </ul>			

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
<p>提出・教員による評価後は、受講生間で共有し、コメントを求める。</p>			

評価の基準			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前研修への出席、および活動内容、提出物の評価（50%）</li> <li>・研修中の各行事への出席、活動内容また参加度の評価（40%）</li> <li>・現地教員の評価（10%）</li> </ul>			

履修にあたっての注意・助言他			
<p>海外英語研修（アメリカ）は、日本を離れて異文化を体験することで、今まで体験したことのない様々なことが学べる素晴らしい機会を与えてくれるものといえます。学内での授業では物足りないと考え、さらに英語力を磨きたい人の積極的な参加を期待します。ただし、現地での行動だけでなく、事前研修での課題をこなすことが必要です。また、行事への参加・貢献については、集団中での活動となり、自分中心の行動は許されない場面も多くなります。とりわけ旅行中については、特に参加者の安全を確保することを優先して考え、集団行動において適切な行動をとることが求められます。事前研修、また現地研修中に、それらの資質が欠如していると判断された者に関しては、以後の研修への同行を中止する場合があります。その場合は単位が認定されません。</p>			

教科書	
<p>・参加者が決定後に通知します。</p>	

プリント資料及び参考文献	
<p>必要に応じてプリントを配布する。</p>	

授業計画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事前研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスポートの取得を含めた出発準備</li> <li>・現地研修概要説明</li> <li>・ホームステイのための心得</li> <li>・自己紹介及び日本文化紹介のための資料作成</li> <li>・アメリカ滞在に必要な実践英語学習</li> </ul> </li> <li>2) 現地研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・PSUでの英語研修とホームステイ・寮生活</li> <li>・現地での文化研修</li> </ul> </li> </ol>	

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア	PBL（課題解決型学習）
イ	反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ	ディスカッション、ディベート
エ	グループワーク
オ	プレゼンテーション
カ	実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間	
予習	毎回指示されたトピックに対する発表用資料作成（2時間程度）
復習	講義中に出てきた表現について習熟を図る（2時間程度）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
<p>教材配布にはMoodleを利用する。</p>	

実務経験の有無及び活用	

備考	
<p>事前研修には、日常使いの辞書（電子辞書可）を常時持参してください。出席管理は自分で行うこと。</p>	